



かみさと



議会 だより

- ◇6月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇7月臨時会の審議状況 ……P 4
- ◇委員会レポート ……P 5
- ◇6月定例会一般質問に8人 …P 6
- ◇9月定例会会期日程等 ……P14

上里町
指定文化財

大光寺 旧総門



96

勅使河原・大光寺

勅使河原有直が大光寺を創建した1215年に建てたといわれています。1582年の神流川合戦ではこの総門のみ残しあとの建物は焼失しました。柱の傷はその時の矢じりの跡といわれています。

第3回 6月 定例会

6月3日~13日

一般会計補正予算(特別給付金事業等)を可決



6月定例会は6月3日に開会され、議員8名の一般質問と町長提出議案等7件、議員提出議案2件を審議して13日に閉会しました。

◆ 条 例 ◆

要旨 上里町こども医療費支給に関する条例及び上里町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

要旨 現在児玉郡市を中心に実施している現物給付を県内全域の医療機関等でも行うことができるようにするため所要の改正を行うものです。

要旨 上里町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 「上里町長の給料の特例に関する条例」が失効したため所要の改正を行うものです。

◆ 人 事 ◆

要旨 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(諮問)

要旨 委員の谷ヶ崎正子氏の任期満了により、大字神保原町の坪山利江子氏を推薦することに意見を求めるものです。

要旨 監査委員の選任

要旨 委員の小島崔氏の任期満了により、大字七本木の川浦計男氏を選任するものです。

◆ 令和4年度補正予算 ◆

要旨 上里町一般会計補正予算(第2号)

概要 歳入歳出それぞれ4405万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億9589万1千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・藤木戸勝場線歩道整備事業 2096万6千円

要旨 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 1574万3千円

要旨 上里町水道事業会計補正予算(第2号)

要旨 国道17号本庄道路の計画区域において水道管移設工事の実施設計を行うため補正を行うものです。

要旨 上里町一般会計補正予算(第3号)

概要 歳入歳出それぞれ1億1264万3千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ99億853万4千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 9663万5千円

・子育て世帯生活支援特別給付金事業(その他世帯分) 1593万8千円

◆ 意見書 ◆

要旨 インボイス制度の実施中止を求める意見書(案)

要旨 2023年10月に実施されるインボイス制度について、小規模事業者への影響を鑑み中止を要望するものです。

用語 インボイス制度

8%と10%の正確な消費税率・消費税額を記載した適格請求書を発行する制度。事業者には仕入税額控除を適用するために必要とされる。

要旨 農業災害支援と食料自給率向上を求める意見書(案)

要旨 食料自給率の引き上げ、6月2日の降雹被害に対し、迅速な支援策を講じること等を要望するものです。

6月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名													結果	
	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁		黛 浩之
上里町子ども医療費支給に関する条例及び上里町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和4年度上里町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和4年度上里町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
令和4年度上里町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
インボイス制度の実施中止を求める意見書（案）	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	否決	
農業災害支援と食料自給率向上を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対)

降ひょう被害に係る要望書を提出しました

令和4年6月2日発生の降ひょうにより、これまでに経験したことのない被害が町民生活に多大な影響を及ぼしています。

上里町議会では、町民の生命財産と安心・安全な暮らしを守るため、町に下記の要望をいたしました。

- 地元区長や民生委員等の協力を得るなど、ひとり暮らしの高齢者や障害者等の社会的弱者について、被害状況の速やかな把握に努めること。
国、県及び農協等と連携し農作物や農業施設等の被害状況を的確に把握し、速やかに財政支援を図ること。
- 被災者に一律に支給する見舞金及び被害の状況に応じた支援金等、効果的できめ細かな支援を早急に図ること。また、支給に当たっては、被災者の負担軽減、事務手続きの迅速化のため簡易な証明書（写真、領収書等）を添付することとし、速やかな支給に努めること。
- 降ひょう被害により発生した窓ガラスや家財及び農業資材等の災害廃棄物については、被災者になるべく負担のかからない方法で、且つ適切に処分されるよう対策を図ること。
- 児童・生徒の登下校の安全を守るため、倒木や落ち葉等で滑らないよう通学路の再点検を行うこと。
また、登下校時の降ひょうに備えて児童・生徒及び保護者に的確な指導を行うこと。
- 近年の異常気象等により、再び降ひょうをはじめとした様々な自然災害が想定されるため、速やかに対応できるよう危機管理体制を整備するとともに災害物資の確保を図ること。



令和4年度一般会計補正予算（降ひょう被害に関する支援事業、新型コロナウイルス感染症対策事業）を可決



第4回
7月
臨時会

7月27日

7月臨時会は、7月27日の1日間の会期で行われ、町長提出議案等3件を審議しました。

◆ 専決処分 ◆

専決処分の承認を求めること

概要 歳入歳出それぞれ327万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を99億4130万8千円とするものです。

降ひょう被害に関する支援事業

- ・ 町内農業降ひょう被害臨時応援給付金事業 1720万円

- ・ 災害救助事業（災害見舞金など） 1557万4千円

◆ 人事 ◆

副町長の選任

要旨 江原洋一氏の任期満了により、大字神保原町の島田邦弘氏を新たに副町長に選任することに同意するものです。

◆ 令和4年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算（第5号）

概要 歳入歳出それぞれ1億4261万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を100億8392万円とするものです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業

- ・ 地方創生推進事業（キャッシュレス決済推進事業委託料） 7401万円

- ・ 若者の未来応援給付金事業 4058万3千円

- ・ 高齢者電気料金支援給付金事業 1941万9千円
- ・ 家畜飼料及び施設園芸燃油等高騰対策事業 860万円

7月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黨 浩之	結果
専決処分の承認を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
副町長の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 同意
令和4年度上里町一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○)賛成 ×反対

前議員に感謝状が贈呈されました



5月16日町長より、令和4年4月30日で任期満了を迎えた前議員14名に感謝状が贈呈されました。

議会からは代表で猪岡前議長が謝辞をお伝えしました。



教育委員との意見交換会

6月24日、文教厚生常任委員会では、昨年
に続いて2回目となる、教育委員との意見交換
会を実施しました。

今回は「建築新人戦2021」で優秀賞を受賞
した棚田悠介さんを招いて、ご自身が育った神
保原駅北地区を題材にした学校建築に関する講
演をいただきました。棚田さんの思い描く町全
体が学びの場となる小学校の風景は、自分の子
供時代と重なり懐かしさを感じました。また、
魅力あるまちづくりとはどのようなものかと考
えさせられました。

講演終了後は意見交換の時間を設け、教員不
足の問題等について各委員から多くのご意見を
いただきました。 高橋 勝利



利根川治水同盟治水大会

8月4日、埼玉県加須市で開催の第72回利
根川治水同盟治水大会に参加しました。

利根川流域1都5県の各首長・議員の参加の
もと、会長より利根川水系のバランスの取れた
効率的かつ効果的な河川施設の整備を進め、利
根川流域住民の命と暮らしを守る災害に強い施
設整備を推進するべく、関係機関に対して積極
的な取り組みを要求していくとの意思表示がさ
れました。

上里町は利根川水系の神流川、烏川、利根川
に接している、その恵みを受けたり、また災害
も受けています。これからも、「利根川治水同
盟治水大会」に参加することの重要性を強く感
じました。 植原 育雄



前期研修会



7月21日に児玉郡町議会議長会主催による児玉郡
町議会議員前期研修会が美里町で行われました。講演
では「政務活動費適正支出のチェックポイント」とい
う題目で廣瀬和彦先生にお話して頂きました。政務活
動費の意義や条例に始まり、実際の使用例を参考に適
正な政務活動費の使い方を教えて頂き、新人議員とし
てはとても勉強になりました。

政務活動費が交付されていない自治体もある中で、
上里町では1ヶ月あたり6千円が交付されています。
政務活動費を適正に使用し、より良い議会活動に活
かしていきたいです。 石井 慎也



戸矢 隆光

問

藤木戸・勝場線拡幅工事の早期着工を

答

6月定例会に道路設計の補正予算を計上

1 藤木戸・勝場線について

問 交通量が増加している藤木戸・勝場線の道路拡幅工事に合わせて、児童の通学路となっている歩道の整備に着手して安心で安全な通学路の確保を。

答 藤木戸・勝場線の整備に必要な歳入歳出の補正予算を6月定例会に計上し、承認後道路設計に着手していきたい。

2 老朽化した公民館の早期解体について

問 長幡・七本木・賀美公民館は建築から50年以上経過し、長幡公民館は雨漏りなどにより使用不可になっている。今後、利用団体数の減少も懸念され、地域の拠点でもある施設の利活用の不便を解消するために変わりとなる施設を早急に検討すべきでは。

答 長幡・七本木・賀美公民館については、同じ地域内の児童館や男女共同参画推進セ

ンターに機能を移転し、複合施設となる予定である。新たな複合施設として開設した後、長幡公民館は令和6年、七本木公民館は8年、賀美公民館は10年に解体工事を着工予定である。住民の声を聞きながら調整できるものは前倒しをしていきたい。

3 産業団地（工業団地）について

問 年々多様化する住民の要望に応えるには、企業誘致などの税収の確保が必要不可欠で急務になってくるのではないか。またそれらの効果により地元の人々の雇用確保にもつながるのでは。町として転用できる土地の確保が必要ではないか。

答 企業誘致については最優先に取り組むべき政策の一つであると考えている。民有地で未だ活用されていない土地の活用を県と連携していくと共に、企業誘致を受け入れる用地の確保を農業振興地域の

見直しを含めて産業団地化できないか担当課と検討している。

4 幼稚園、保育園児の給食費無償化について

問 コロナ禍や景気の動向など社会を取り巻く変化が大変目まぐるしい中、子育てをめぐる環境は厳しさを増している。子育て世帯への経済支援を目的として、町内在住の幼稚園、保育園児に対して給食費の無償化について実施をいただけるか。近隣で実施しているところを勉強し前向きに取り組むのも政策ではないか。

答 食材料費については、園によって額が異なっており、在宅で子育てをしている保護者に対しても同様に発生する経費であるので、対象となる経費の設定等が困難であると考えている。方向性考え方は一致するところがあるので必要となるのは研究していきたい。

5 選挙の公約について

問 選挙公約は選挙民との約束。各種事業を決断し実施できるのは執行者である町長。選挙民から寄せられる期待も大きく責任も重大である。1期に実現できなかったものは引き続き努力をしていただきたい。

答 やり方は変えても内容的には公約を着実に実行している。一旦政策として取り上げたものを取り下げることは厳しく、実質的な中身について評価してもらいたい。





飯塚 賢治

問 手話言語条例の制定について

答 制定準備を進めてまいりたい

質問 1
新しい地域社会の構築について

問 デジタル田園都市構想に関する取り組み推進について考えがあるかどうか。

答 デジタルの実装を進め、地方と都市の差を縮めていく必要があると考えている。上里町にとって非常にメリットがある。神保原駅北まちづくりの中で取り組んで行けたらと思うし、町全体の中でも取り組める要素があるので、積極的に取り組みたい。

問 全ての地域で感染症の拡大防止や不登校児童・生徒への柔軟な対応など、誰もが、どこでも、安心して学びが継続できるように、リモート授業を可能にするための通信環境等の整備について。

答 教育長 町ではGIGAスクール構想を機に、学校と家庭をオンラインで繋ぎ、学級担当とタブレットで交信できる環境を整えている。学校を休む必要がある児童・生

徒や不登校児童・生徒に対し、保護者希望によりオンライン授業を既に実施している。

「休んでいる間も授業を受けることができたりが良かった。」との声をいただいた。

問 オンライン診療を適切に実施する前提となっているかかりつけ医を各地域に適切に配備すると同時に、全ての住民がかかりつけ医師に繋がれるように取組を強化する必要があると考えるが。

答 町では17ヶ所の医療機関が所在し、かかりつけ医を持ちやすい状況になっている。

また、町内の医療機関に限定されず、患者さんがアクセスしやすい地域の医療機関で信頼できる医師がかかりつけ医になることも考えられる。町としてもかかりつけ医を持つことを勧めており、情報を掲載したチラシの每户配布、ホームページにも掲載している。

問 分散型社会の構築に向けて、総合的な取組を積極的に

進めてはいかかがか。

答 神保原駅周辺に必要な機能をコンパクトに集積し、中心拠点の形成を進める。また、上里サービスエリア周辺地区整備事業の推進、空き家を活用したコワーキングスペースの整備やサテライトオフィスの誘致を積極的に検討する。

質問 2
手話言語条例について

問 手話言語条例は児玉郡市で上里町だけがまだ制定されていない。いち早く手話言語の環境を確立してほしい。なぜならば、人は言語により思考し、発達していく。手話言語の制定について明快なる説明を。

答 不便や不安を感じながら生活してきたろう者の思いを真摯に受けとめ、ろう者とう者以外の人が共生できる地域社会の実現に向け手話言語条例の制定準備を進めてまいりたい。

質問 3
図書館運営事業ブックスタートについて

問 ブックスタート事業の中で生まれた赤ちゃんに対して絵本を2冊プレゼントするところもあるが。

答 3歳6か月児の健診時に実施できるかどうか、関係者と協議検討する。

質問 4
物価高対策について

問 物価高のあおりを受け、生活が困窮している方に対し、きめ細かい支援を考えていただけはないか。

答 地方創生臨時交付金を活用して、町民や事業者の皆さんを幅広く支援できるように、町独自支援策を決定していく。



石井 慎也

問 みどりの食料システム戦略について

答 調査研究を進めていく

質問 1

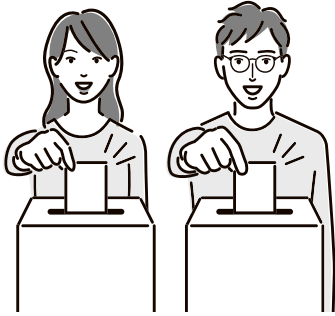
選挙について

問 投票率の改善について、過去の一般質問で同僚議員も質問していた商業施設等での投票所の設置について。

答 選挙管理委員長 商業施設等に期日前投票所を増やすことは、運営する為の投票管理者や立会人、事務従事者を確保することが困難な状況であり導入は見合わせている。

問 新しい投票方法としてインターネット投票があるが、導入にはどのようなハードルがあるのか。

答 選挙管理委員長 導入には公職選挙法の改正や全国共通利用型のシステム整備が必



要なため社会情勢やインフラ整備など、導入環境も考慮して検討していく。

質問 2

農業振興について

問 4月22日の国会で、みどりの食料システム戦略の法案が可決された。その中で国としては、2025年までに全国の100市町村でオーガニックビレッジを創生しようとしている。上里町は埼玉県内でも有数の有機栽培の生産地なのでオーガニックビレッジ宣言をし、モデルの先進地域となっていければと思うが町としてはどのように取り組んで行く予定か。

答 上里町においては国の補助事業の活用に加え町独自の補助事業により、人と環境に優しい農業を推進している。今後の農業振興の取り組みとしては、担い手の確保と育成、優良農地の確保と集積など上里町農業振興プロジェクトに掲げた取り組みを着実に推進

質問 3

新型コロナウイルス対策について

するとともに、有機農業の分野においても上里町が地域の先進的な役割を果たせるよう、国や県から示される情報について調査研究を進めていく。

問 中核的担い手農家育成奨励金交付事業補助金は利用権の設定された農地に対し交付される補助金のため、土地利用型農業を行っている農家にとっては恩恵があるが、施設や果樹、畜産の農家には恩恵が少なく、偏った政策ではないか。

答 上里町の農業全体を捉えると均衡が取れていない印象があるが、町独自の支援策として畜産協議会、果樹連合会への運営補助や豚熱ワクチン接種等への助成を実施している。今後、町としても、その他支援事業など、他の産業・業種とのバランスや各分野における農業情勢を注視しつつ検討していきたい。

問 上里町としては、県の感染症拡大防止対策の指針に基づき、保育園や小学生などの子供たちに対しマスクの着用を継続しているが、今後暑くなるに当たり、熱中症のリスクも高くなり非常に危険だと考える。またマスク着用の弊害として子供たちの表情認識能力の低下や酸素不足による脳の発達障害が起こるとも考えられている。マスク着用は法律による義務では無いため現場サイドでの柔軟な対応が求められるが町としてはどのような対策を行っていくのか。

答 教育長 上里町では国や県教育局からの指導を基に学校医と連携しながら熱中症対策のため、登下校でも密を避けることでマスク着用は必要ないことや、体育の授業でもマスクを外して運動するように指導している。また、マスクを外したり外さなかったりする子どもに対して、差別的な発言や行動がないように見守っていく。



高橋 勝利

問

町長は四年間でどのような実績を積み上げたのか

答

空の杜保育園開設、18歳以下の医療費無料化実現

質問

1 山下町長が再選された事について

問 後援会発行のビラでは、

町長が力を入れてきた高校誘致が見えなかったことについて非常に残念に思います。高校誘致が実現すれば、町長選の対抗馬は出なかったのではないかと、町民からの声もあり、何故高校誘致が話題にならなかったのか、大きな障害があったのかお聞きしたい。

答 高校誘致が全く見えなかった事につきましては、今回の選挙公約にある神保原駅北まちづくり検討推進の中で高校誘致にも取り組んでいくという考えで公約を掲げさせて頂いております。町政運営を任されたことで期待と責任は大きいものとして実感しており、可能な限り実現に向けて取り組んでいきます。

質問

2 町民体育祭の在り方について

問 新型コロナウイルス感染

拡大に伴い、町の行事もほとんどが中止になり、町民のストレスも相当溜まっていると思われるが、区長会からは開催による区長の負担、開催中止や短縮の声があります。提案として、区長の負担を軽減する為に各小学校単位での開催、地域の老若男女がこぞって参加でき楽しく過ごせる為に、字別対抗種目を極力少なくし、誰でも参加できる内容に切り替える時期に来ているのではないかと。種目の内容も検討すべきと思うが町長はどのような考えをもっているか。



答 議員ご指摘の通り、町民体育祭の運営については、選手の確保から前日のテント張り、地区内運営までの区長の担う役割は多く、以前より意見が寄せられていました。アンケート調査を軸に少しでも負担を減らすべく開催時間の短縮、選手枠の拡大、地区別から地域別に範囲を広げるなど内容変更プログラムを区長

質問

3 上里町のスポーツ振興について

問 少子高齢化が進み、高齢

者が増加、子供人口は減少するばかりです。入学児童の減少に伴い、スポーツ少年団、団員数から見ても存続が危ぶまれてくる団体が増加していくと思われまます。スポーツ庁は中学指導者不足を考え、対策に乗り出していますが、部活動の指導者確保を考える前に、子供の減少がそのまま進めば部活そのものが廃部の可

会に提示させていただきました。

問

答 教育長 スポーツ庁は、

運動部活動の改革集中期間と位置づけ、部活動の地域移行について保護者の費用負担、指導者の確保、平日の活動と連携等、様々な課題を解決しながら、令和7年度を目標に、休日の運動部活動の地域移行に取り組んでまいります。

質問

4 神保駅北まちづくりについて

問 町長が再選され、これか

らの具体的なまちづくりの進め方をお聞きしたい。

答 町づくり基本構想については、コンパクトで持続可能な町づくりを実現するため、アンケート、町づくり協議会や住民説明会などの大勢の方のお力添えにより本年度3月に基本構想を策定し、公表いたしました。



沓澤 幸子

問 平和を考える講演会など町で実施を

答 語り合い必要、定期的にやることも大事

1 子育て支援の実績と 公約について

問 町長が公表された4年間の実績「子育て日本一の町」のハード事業とソフト事業の割合、国と町単独事業の割合、県内自治体との比較はどうか。国が実施した保育料等の無償化で負担減となった費用の活用は、子育て日本一として誇れるソフト事業はなにか。

答 児童福祉費における町単独事業の占める割合は、平成30年度決算と令和3年度決算見込みと比較すると、子ども減少の中で125%の伸び率です。

問 2期目の「子育て環境の充実」の6点の公約を実現することで、国・県より落ち込んでいる合計特殊出生率の目標（R6年に1.25）を達成できる見通しは。町のアンケートでも、理想の子ども数を実現する上での妨げは、「子育てや教育にお金がかかる」が7割です。保護者への負担

軽減と思いついた給付が必要では。

答 子育て家庭を応援する上で、マンパワーによる事業展開が重要。妊娠期から社会的自立に至るまで、包括的・継続的支援を実施したい。教育環境や医療・福祉体制の充実、企業誘致による雇用拡大、道路交通環境整備、ごみ問題等、生活環境など幅広く推進し、よりよい町づくりが子育て支援につながるかと考える。

2 平和事業について

問 ロシアの侵略を機に、「核兵器の共有」や敵基地攻撃能力保有（反撃能力）、軍事費をGDP比2%以上、等の議論があります。「核共有」について町長の見解は。

答 国際情勢は様々な展開を見せ、不安を感じる状況の中であっても、非核都市宣言や平和首長会議に加盟の町として、宣言の趣旨に基づき、安心して平和で健康に生活を送

れる時代を築いていくこと。人類初の被爆国であり、日本にしかできない政策、訴えを核保有国に働きかけていたいただきたい。

問 「非核都市宣言」の町として、二度と侵略する側、される側にならないために、平和を考える映画の上演や憲法を学ぶ講演会など、年に1回でも町の事業として実施を。

答 平和を考えるアプローチの1つとして、ホームページを早々に立ち上げたい。平和については、語り合っていく必要がある。定期的にやることも大事だと思う。



問 「非核都市宣言塔」は、町が重要視していることであ

り、目立ってこそ意味があります。現在の2か所の補修や移転と合わせ、役場庁舎前にも設置を。

答 宣言塔は大変劣化している。交通量の流れを考慮し、新たなPR方法として、人が集まる場所にメッセージが伝わる様なデジタル化を検討。

3 保健センター等複合施設整備計画について

問 保健センター、老人福祉センター、町民福祉センターの複合施設整備計画は、3年計画の中間年ですが、設計業務委託料が予算化されていません。建設場所を含め、利用者の意見を組み入れ、計画通り来年度に建設出来るのか、進捗状況は。

答 令和3年度中に、施設概要、建設候補地、整備手法等を含めた基本計画を策定し報告する予定だが、遅れている。計画期間である令和5年度建設改良は難しい。建設候補地についても慎重に協議中。



金子 義則

問 教育にお金の掛からない町へチェンジ

答 子ども子育て日本一を目指す



1 質問 小中学校の給食費無償化に付いて

問 山下町長は4年前の選挙の時に給食費無償化を公約に掲げて町長に当選しましたがその後約束は果たされていません。近隣の神川町、美里町では現在給食費無償化が実施されていますが、今後も当町では無償化する予定は無いのでしょうか。

答 令和2年度と3年度に新型コロナウイルス感染症対策の町独自支援策として、学校給食費臨時補助事業を実施させて頂きました。また本年度も町独自支援策第5弾として令和4年6月から10月の4か月間、学校給食費臨時補助事業として実施させて頂きますが本格的な完全無償化については、今回見送らせて頂きました。

問 前回の給食費無償化についての答弁の中に、なぜか本庄市の意見を聞かなければならないとのご発言がありました。

た。なぜ上里町独自で決める事が出来ないのかを説明して頂きたいと思えます。

答 本庄上里学校給食組合は昭和42年に当時の本庄市と上里村により設立され昭和43年1月から給食の提供がされました。54年間の歴史を本庄市と歩んできたことから足並みをそろえたいと考えています。

2 質問 群馬銀行閉鎖後の問題について

問 民間企業であります群馬銀行ですが、お金は生活していく上でなくてはならないものです。閉鎖前には銀行内ATM4台、とりせん駐車場に1台と合計5台のATMが稼働していました。その時でさえ給与日や年金支給日などは長蛇の列になっていたのに、現在ではとりせん駐車場に1台になり常に行列が途切れないのが現状です(※)。年金支給日ともなれば高齢の方々が雨・風もしのげず、これからは炎天下の中並ばなくては

なりません。今後は熱中症等の緊急搬送さえ予想されます。強く改善を申し入れます。

答 昨年10月26日に群馬銀行に対して上里町長・上里町議会議員・上里町商工会会長の連名で、町内利用者の利便性の確保について要望書を提出いたしました。議員指摘の通り今後も引き続き金融機関に対して要望を続けてまいります。



1ですが当町ではどの様な対策や支援を考えていますでしょうか。

答 ヤングケアラーは自らSOSを出すことが少なく気づかないことが多いので、周りで気づくことが大切であると考えます。当町では福祉医療の専門員が訪問出来る体制をとっていますので気軽に利用いただきたいと思います。

問 生理の貧困は経済的・家庭の事情等で生理用品が入手する事が困難である状態です。特に小中学校の女子トイレに常備して頂く事を要望します。

答 教育長 町内小中学校では保健室に生理用品を常備し、急に必要になったり忘れた場合養護教諭に相談するように指導しています。また単に渡すだけでなく、子供を観察し心の悩みやネグレクトなどが無いかも視野に入れ、家庭状況について相談できるきっかけとしています。女子トイレ常備に対しては今後前向きに検討していきます。

3 質問 ヤングケアラーと生理の貧困について

問 幼き介護者ヤングケアラ



猪岡 壽

問

防災無線放送が聞こえないとのクレームについて

答

全町民に出来るだけ早く正確に伝わる対策をとる

1 防災無線デジタル化について

問 当初、神保原地区と長幡地区の一部の住民から、防災無線放送が聞こえない、聞きにくいとの苦情が出ていたが、時間が経つにつれ、他の多くの地区からも同様の苦情が出てきたので、町長に質問させていただきました。防災無線放送は行方不明者の放送や緊急連絡時の放送など、住民の生活上大変重要な役割を果たしている。

現在の住宅構造は、高気密・高断熱化されていて窓を閉めると外部との接触は遮断されて更に聞きにくくなる。これから秋にかけての台風シーズンに、地球温暖化の影響

もあり、大型台風が襲来する可能性がある。その時にこの防災無線放送が大事になると思うが、町長の見解をお聞きしたい。

答

6月2日の降りよう被害後のビニールシートの配付放送では530人の皆さんが、放送やホームページの情報により、駆けつけてくれたとされている。そのことを参考に、また、4月に来庁された町民との話し合いでは、防災や防犯などに関する町からの情報が家の中で聞こえないことに不安を感じていることから、情報が町民全員に正確に伝わるようにするための対策を、出来るだけ早く実行に移していくので、ご理解をいただきたいと思う。



2 下水道事業について

問 令和2年度の下水道事業の決算内容を分析してみると、将来に渡り下水道事業が持続可能な事業として成り立っていくには難しいものと考えます。

まず、入金となる下水道使用料を含めた営業収益は8800万円である。一方、出金は借入返済額が1億1191万円、借入利息が4216万円であり、借入返済額と利息で、営業収益8800万を6600万円オーバーしている計算である。それから営業費用7465万円をプラスすると、1億4065万円資金不足となる。そこで、資金不足を補うため、一般会計より1億349万円の補助金と3212万円の出資金、それに借入金8400万円を補って決算を終えた内容である。

今のところ、一般会計は赤字ではないが、約80億円の地方債務残高を抱えている。下

水道事業も借入額24億円プラス利息で28億円の負債残高があり、これを減らすには、接続率を上げて一般会計に頼らない財務体質にすべきであるが、町長の見解をお聞きしたい。

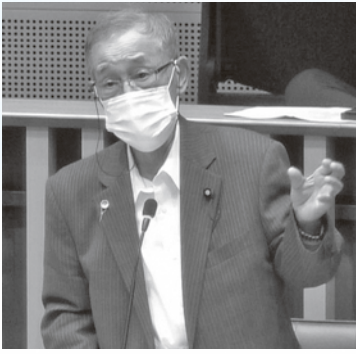
答

上里町の下水道事業は、営業収益だけでは運営を行うことは難しく、一般会計からの基準内繰り入れ、並びに出資金で補っているところである。このような公営企業へ一般会計からの繰り入れについては、地方公営企業法に規定されており、当町においてもこの基準に従って繰り入れをしているが、接続率を上げることが重要であることから、年2回休日による啓発活動や戸別訪問による啓発活動を実施している。今後は計画的な整備を推進するとともに、コロナ感染状況等を見ながら、接続推進策を計画的に実施し、安定的で持続可能な事業になるよう接続率の向上に取り組んでいく。



一般質問

新井 實



問 駅北大型店舗跡地の有効利用について

答 当該用地の早期取得に向け交渉中

1 コロナ禍深刻な出生数減について

問 出生数が減少しているという統計が公表されましたが、上里町としてはこの少子化問題についてどのような対策を検討していますか。

答 若い人の出会い、結婚から妊娠、出産、子育て、教育就労に至るまで、切れ目ない支援を行う体制を構築し、施策を実施しております。

2 デジタル教科書の活用方法について

問 学校現場でデジタル端末を使う場合の効果的な活用方法について。

答 教育長 学習用デジタル教科書及び促進事業の検証結果を踏まえ、各学校の状況に応じて、より効果的な使用方法を模索していきます。

3 休日の中学部活の地域運営について

問 中学の運動部活動を

2025年度末に地域の外部団体の運営とする提言の素案をスポーツ庁の有識者会議がまとめたことについて。

答 教育長 休日の運動部活動の地域移行に向けて課題が多々あり、まずは基本的な課題を一つ一つ解決していかなければならぬと考えます。

4 熱中症対策について

問 エアコンを定額制で本体購入不要で高齢者宅に普及させることについて。

答 町では高齢者等に対する熱中症予防の啓発には、継続的に取り組み、エアコンの設置や利用に関わる経費の削減に向けた町独自の施策を検討していきます。

5 ウクライナ避難民への独自支援について

問 家族や知人を頼ってウクライナから避難してきた人達に対する上里町としての受け入れ対応と独自支援策はでき

ているでしょうか。

答 現時点では、上里町においては避難民はおりませんが、支援体制としては、総務課が総合相談窓口となり、関係各課と連携し進めていきたいと考えています。

6 地方財政白書における今後の自治体財政運営の在り方について

問 2022年度版「地方財政白書」を読み解き、新型コロナウィルス禍や自治体財政の硬直などの地域再生に向けた課題を探り、検討することについて。

答 町では、今後適切な賦課徴収、時間外勤務の削減、補助制度の見直しによる経常収支の抑制など財政の健全化に取り組んでいきます。

7 群馬県高崎市との合併問題について

問 上里町は県北の中でも経済、文化、教育、医療等すべてで遅れており、隣の新町の

ように高崎市と合併してはどうか。

答 都道府県をまたぐ越境合併は、双方の都道府県議会の議決が必要であり、区域の一部を失う県が反対することが想定され、合併へのハードルが高くなっております。

8 神保原駅北まちづくり事業について

問 神保原駅北まちづくり事業における大型店舗跡地の有効利用について。

答 御質問の大型商業施設跡地は、現在当該用地の早期取得に向け、地権者への代理人と交渉を重ねている状況です。



大型商業施設跡地

議会日誌

6月

- 3日 定例会開会、町長の行政報告
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 8日 全員協議会
- 9日 議案審議(条例等、補正予算)
- 10日 総務経済常任委員会、文教厚生常任委員会、議会運営委員会
- 13日 定例会閉会
- 24日 文教厚生常任委員会

7月

- 6日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 7日 埼玉県町村議会議長会視察研修(~8日)
- 14日 議会広報広聴常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 郡議会議長会前期研修会
- 27日 臨時議会

8月

- 4日 利根川治水同盟治水大会
- 5日 国道17号建設促進期成同盟総会
- 9日 明るい町づくり意見発表会
- 17日 議会運営委員会
- 本庄上里学校給食組合議会
- 18日 議会広報広聴常任委員会



編集後記

5月2日
より広報公聴常任委員会副委員長
として、議会だよりの編集を務めさせていただきました伊藤覚です。これからも委員の皆さんと力を合わせて、更に親しみやすく、読みやすい議会だよりを作れるよう頑張ります。

今年の夏も昨年、一昨年同様に、新型コロナウイルス対策と、熱中症対策に神経を注ぎ、皆さんが大変お疲れかと思いが、9月の発行日には第7波が終息に向かい、徐々に平穏な日常生活を取り戻せることを切に願っています。

- 議会広報広聴常任委員会
- 委員長 齊藤 崇
 - 副委員長 伊藤 覚
 - 委員 石井 慎也、高橋 勝利、高橋 育雄、植原 仁、戸矢 隆光

9月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					(開会) 一般質問	
4	5	6	7	8	9	10
	一般質問		議案審議	議案審議	特別委員会	
11	12	13	14	15	16	17
	特別委員会	特別委員会		特別委員会	特別委員会	
18	19	20	21	22	23	24
	敬老の日	特別委員会	特別委員会	特別委員会	秋分の日	
25	26	27	28	29	30	
	特別委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	(閉会) 報告・採決	

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間は変更になることがあります)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

9月定例会一般質問一覧

氏名	質問事項
石井 慎也	①災害対策について
	②電害について
	③学校教育費の支払いについて
	④町長の給料について
齊藤 崇	①町の経済対策について
	②成人年齢が18歳になった事に対する18歳医療費無償化の考え方は
	③ゾーン30について
	④害獣対策について
植原 育雄	①児童館の活用改善について
	②こむぎっち号について
	③窓口申請の住民負担軽減について
	④住民からの要望事項の実現について
戸矢 隆光	①神保原駅北まちづくり事業について
	②こむぎっち号について
	③明るい町づくりの意見発表について
飯塚 賢治	①環境教育の推進及びカーボンニュートル達成に向けた学校施設のZEB化の推進について
	②災害廃棄物の処理について
	③带状疱疹について
	④サニタリーボックスについて
高橋 勝利	①運動部活動の地域移行と地域スポーツ振興について
新井 實	①新型コロナウイルス感染症拡大対策強化について
	②SDGsなまちづくりについて
	③水素を利用した社会インフラ整備について
	④寺社への支援について
	⑤流域治水を着実に進めることについて
伊藤 覚	①上里町消防団車両、及び装備品について
	②埋蔵文化財の保護、保存の推進について
猪岡 壽	①町づくり基本構想の中心拠点となる神保原駅周辺の開発について
	②神保原地内の公共下水道処理場跡地について
	③税金以外で稼げる町「上里町」にするためには
沓澤 幸子	①物価高騰から町民の暮らしを守る対策について
	②教育の充実について